

音楽科 学習指導案

1. 題材名

音楽の構造と曲想との関わりを理解して

『ボレロ』ラヴェル作曲／『組曲「惑星」から第1曲「火星」』ホルスト作曲

(音楽のおくりもの2・3下 p24～27)

2. 題材について

(1) 題材の目標

リズムや旋律の特徴を聴き取り、音楽の構造と曲想との関わりを理解して鑑賞する。

(2) 指導計画 (全3時間,本時は2時)

過程 (時間)	主な学習活動	単元構想の意図,指導方針等
つかむ (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P25の表を参照しながら、オーケストラの楽器の音色や響きを聴き取る。 ・ワークシート「音ソムリエになろう」を記入しながら、楽曲全体を鑑賞する。 	<p>本題材では「リズムや主題の繰り返し、音楽の構造と曲想との関わりを理解することで、音楽の構成を理解し、オーケストラの豊かな表現を味わって鑑賞している姿」を目指したい。</p> <p>〈つかむ過程〉では、オーケストラの楽器の音色や響きを聴き取らせるとともに、リズムや主題の繰り返し、強弱、構成を知覚できるようにする。そのために、「音ソムリエになろう」という課題に取り組みせ、オーケストラの楽器の音色や響きに集中して楽曲全体を聴き取らせ、曲の中で聴き取ったことを、発表させる。</p>
追求する (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・主題の表れ方と強弱の関係を理解し、全体の構成を理解して、聴き取ったり(知覚)感じ取ったり(感受)したことをまとめる。 ・まとめた文を発表交流し、考えを深める。 	<p>〈追求する過程〉では、音楽の構造と曲想の関わりを理解して、聴き取ったこと(知覚)と感じ取ったこと(感受)を結びつけてまとめられるようにする。そのために、導入の場面で、前時に聴き取ったこと(知覚)と感じ取ったこと(感受)を区別して結び付ける活動をする。また、ラヴェルがこの曲を「非常に限られた方向の実験」と言った理由は音楽の中にどのように表れているか、ボレロの魅力はどこにあるのか、という問いかけをすることで追求の意欲が持続できるようにする。グループで発表交流する活動を充実させ、音楽的な知覚と感受を伸ばしながら、楽曲を解釈したり価値を考えたりできるようにする。</p>
まとめる (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボレロ」と「火星」を比較鑑賞し、リズムや旋律の特徴を聴き取り、音楽の構造と曲想との関わりを理解して鑑賞する。 	<p>〈まとめる過程〉では、他の楽曲でも音楽の構造と曲想との関わりを聴き取り、聴き深められるようにする。そのために「ボレロ」と「火星」を比較鑑賞したり、それぞれの特徴やその背景となる文化や他の芸術との関連について理解したりする。</p>

3. 本時の学習

(1) 本時の目標

音楽の構造と曲想の関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞する。

(2) 準備 教科書・CD・ワークシート

(3) 展開

過程 (時間)	主な学習活動	指導上の留意点及び支援
つかむ (5分)	1. 前時の内容を確認する。 ・ボレロのリズム ・2つの主題の繰り返し ・1つのクレシェンド ・様々な楽器の使用 めあて 各部には作曲者のどんな工夫が隠されているのか、「ボレロ」の音楽の魅力を探ろう。	・前時のワークシートを活用する。 ・リズム打ち,旋律唱を行い,発言しやすい雰囲気づくりをする。
追求する (35分)	2. 知覚と感受を区別して,結びつけることを理解する。 3. 楽曲全体を鑑賞しながら,個々で聴き取ったり(知覚)感じ取ったり(感受)したことをまとめる。 4. グループで発表する。 5. 発表で出てきた内容をグループで音楽を聴き,感じ方を深める。 6. 全体でまとめる。 まとめ 単純な音楽の構造の中に,絶妙なオーケストレーションの工夫がなされて,このような壮大な曲が成り立っている。	・第7部を例にあげて,テナーサックスのハッキリとした中低音の音の響きを知覚,そこで感じた怪しい雰囲気を感受と区別させ,結びつけた文章を提示する。 ・聴き取り方が深まったことを実感できるように,話し合いで出てきたことをワークシートに色ペンで記入するよう指示する。
まとめる (10分)	7. 本時の学習を振り返る。 生徒：ラヴェルは,単純な旋律やリズムの繰り返しの中で,得意とするオーケストレーションの魅力を存分に引き出していた。自分の得意なことを表現する力がすごいと思った。	・個々が本時の成果を振り返り,考えを深められるよう,もう一度めあてを確認する。

【評価項目】 ○おおむね満足 ◎十分満足 (鑑賞の能力・ワークシート・発言)

○音色, リズム, 旋律, テクスチャ, 強弱, 構成を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら, 音楽の構造と曲想との関わりを理解して, 鑑賞している。

◎音色, リズム, 旋律, テクスチャ, 強弱, 構成を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら, 音楽の構造と曲想との関わりを理解して, 解釈したり価値を考えたりし, 鑑賞している。